

平成29年1～3月期結果(確報)の概要

今期の概況

1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

今期の業況判断
今期(平成29年1～3月期)の業況判断D Iは (-)62.9 で、前期(平成28年10～12月期) (-61.3)に比べ、1.6 ポイントの悪化。

来期の見通し
来期(平成29年4～6月期)の業況見通しD Iは (-)57.1 で、今期の業況判断(-62.9)に比べ、5.8 ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 - 調査産業計 -

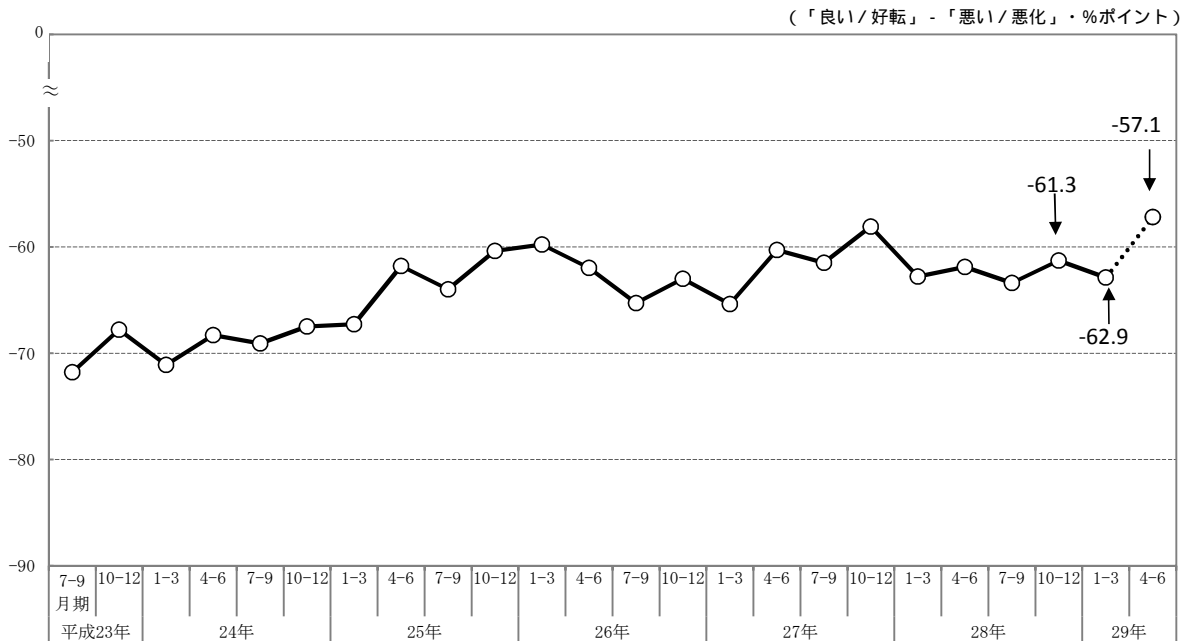


表1 業況判断の割合 - 調査産業計 -

	平成28年				29年	
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	3.6	3.4	3.1	3.4	3.4	3.3
普通/不変	30.1	31.3	30.4	31.9	30.4	36.3
悪い/悪化	66.4	65.3	66.5	64.7	66.3	60.4
D I	-62.8	-61.9	-63.4	-61.3	-62.9	-57.1

参考	業況判断の割合 (%)					
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期 見通し
日銀短観(大企業全産業計)	13	12	12	14	16	14
中小企業景況調査(全産業計)	-29.0	-27.0	-27.0	-26.9	-28.7	-11.8

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成29年4月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は、

- 「製造業」は 232万8000円で、前年同期に比べ、1.5%の増加
- 「卸売業、小売業」は 332万円で、前年同期に比べ、6.9%の減少
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 201万4000円で、前年同期に比べ、10.6%の減少
- 「サービス業」は 113万1000円で、前年同期に比べ、0.3%の減少

今期の1事業所当たりの営業利益は、

- 「製造業」は 60万5000円で、前年同期に比べ、11.7%の減少
- 「卸売業、小売業」は 28万7000円で、前年同期に比べ、18.7%の減少
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 37万2000円で、前年同期に比べ、11.0%の減少
- 「サービス業」は 37万7000円で、前年同期に比べ、0.5%の減少

前年同期(平成28年1～3月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)								
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業		
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
実数 (千円)	平成27年	1～3月期	2,182	595	3,601	394	2,042	373	1,227	395
		4～6月期	2,466	673	3,729	428	2,148	365	1,327	469
		7～9月期	2,310	675	3,609	366	2,203	368	1,215	446
		10～12月期	2,379	644	4,065	484	2,312	470	1,285	471
	平成28年	1～3月期	2,293	685	3,566	353	2,253	418	1,134	379
		4～6月期	2,165	613	3,659	330	2,084	366	1,156	421
		7～9月期	2,092	580	3,638	388	2,107	418	1,139	427
		10～12月期	2,558	688	3,821	405	2,120	387	1,200	427
	平成29年	1～3月期	2,328	605	3,320	287	2,014	372	1,131	377
	前年同期比 (%)	平成27年	1～3月期	-4.8	-9.0	-10.1	-14.9	1.2	9.4	11.3
4～6月期			15.7	9.8	-6.3	-0.7	-0.3	-9.2	9.7	2.9
7～9月期			-0.2	7.8	-13.0	-1.1	1.6	-12.4	-1.2	3.0
10～12月期			-2.7	-2.1	-7.3	-5.3	7.5	11.4	-1.2	-1.9
平成28年		1～3月期	5.1	15.1	-1.0	-10.4	10.3	12.1	-7.6	-4.1
		4～6月期	-12.2	-8.9	-1.9	-22.9	-3.0	0.3	-12.9	-10.2
		7～9月期	-9.4	-14.1	0.8	6.0	-4.4	13.6	-6.3	-4.3
		10～12月期	7.5	6.8	-6.0	-16.3	-8.3	-17.7	-6.6	-9.3
平成29年		1～3月期	1.5	-11.7	-6.9	-18.7	-10.6	-11.0	-0.3	-0.5

3 今期の設備投資額

今期の1事業所当たりの設備投資額は、

- 「製造業」は 12万1000円で、前年同期(7万円)に比べ、増加
- 「卸売業、小売業」は 4万6000円で、前年同期(5万3000円)に比べ、減少
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 4万6000円で、前年同期(5万5000円)に比べ、減少
- 「サービス業」は 4万3000円で、前年同期(7万2000円)に比べ、減少

今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、

- 「製造業」は 5.2%で、前年同期(3.1%)に比べ、2.1ポイントの上昇
- 「卸売業、小売業」は 1.4%で、前年同期(1.5%)に比べ、0.1ポイントの低下
- 「宿泊業、飲食サービス業」は 2.3%で、前年同期(2.4%)に比べ、0.1ポイントの低下
- 「サービス業」は 3.8%で、前年同期(6.3%)に比べ、2.5ポイントの低下

前年同期(平成28年1～3月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成27年	1～3月期	111	5.1	109	3.0	47	2.3	37	3.0
	4～6月期	148	6.0	79	2.1	82	3.8	47	3.5
	7～9月期	135	5.8	86	2.4	159	7.2	57	4.7
	10～12月期	93	3.9	81	2.0	62	2.7	71	5.5
平成28年	1～3月期	70	3.1	53	1.5	55	2.4	72	6.3
	4～6月期	53	2.4	74	2.0	66	3.2	50	4.3
	7～9月期	169	8.1	56	1.5	177	8.4	36	3.2
	10～12月期	64	2.5	93	2.4	84	4.0	47	3.9
平成29年	1～3月期	121	5.2	46	1.4	46	2.3	43	3.8

業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

今期の業況

ア 今期（平成29年1～3月期）の業況判断D Iは (-)62.9 で、前期（平成28年10～12月期）（-61.3）に比べ、1.6 ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは (-)53.3 で、前期（-45.0）に比べ、8.3 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成28年1～3月期）と比較した業況判断D Iは (-)53.5 で、前期（-55.1）に比べ、1.6 ポイント改善した。

来期の業況見通し

来期（平成29年4～6月期）の業況見通しD Iは (-)57.1 で、今期の業況判断（-62.9）に比べ、5.8 ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 - 調査産業計 -

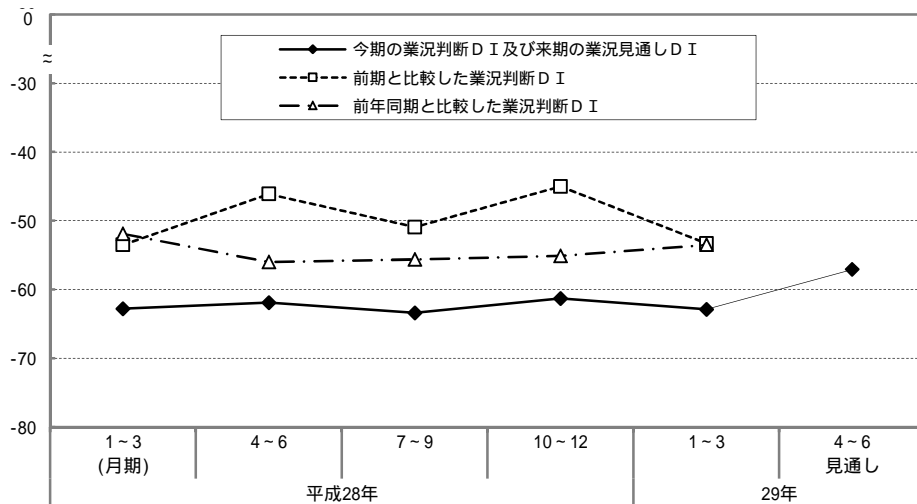
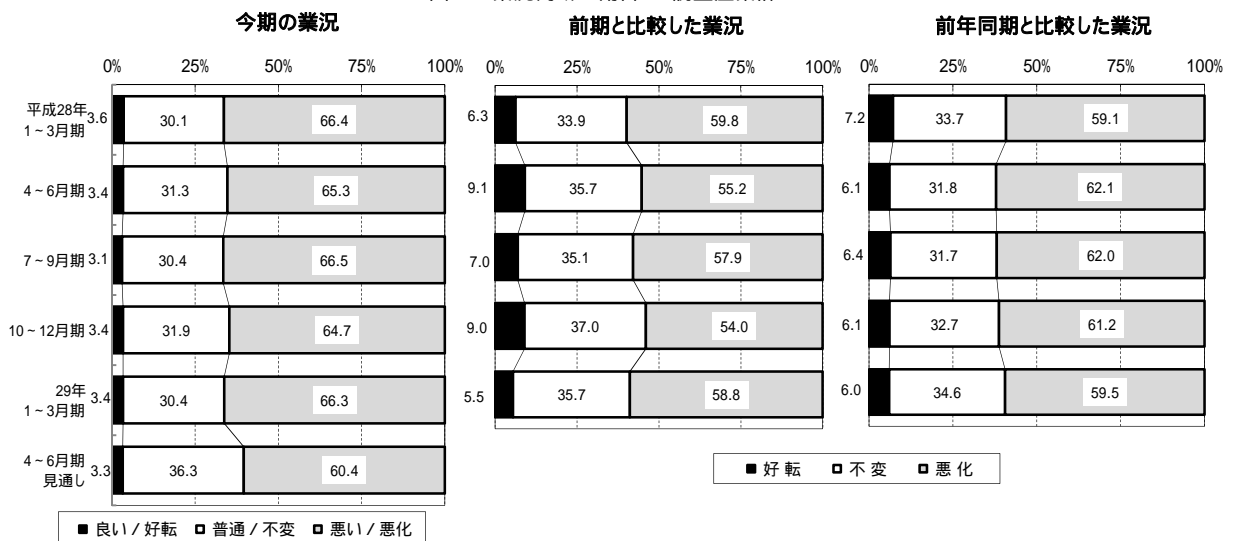


図3 業況判断の割合 - 調査産業計 -



(2) 売上の状況

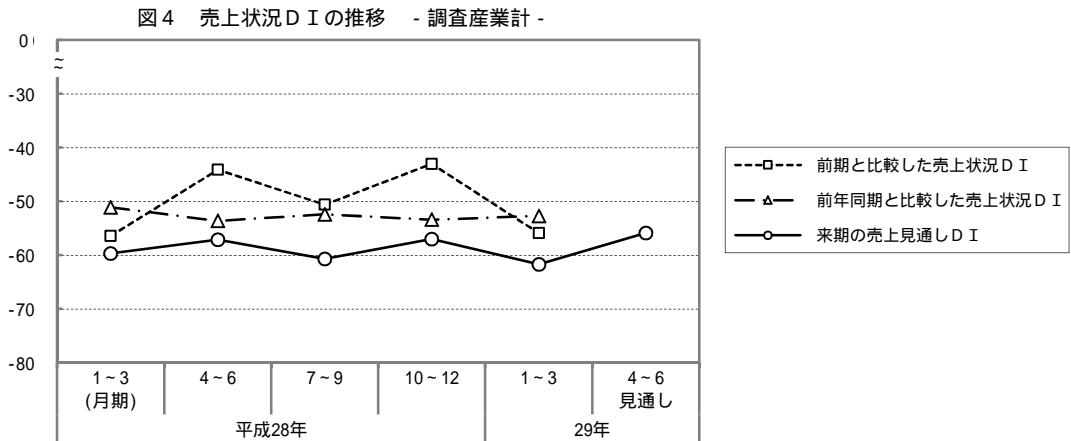
今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)55.9 で、前期 (-43.0) に比べ、12.9 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)52.7 で、前期 (-53.4) に比べ、0.7 ポイント改善した。

来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)55.9 で、前期における今期の売上見通し (-61.7) に比べ、5.8 ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

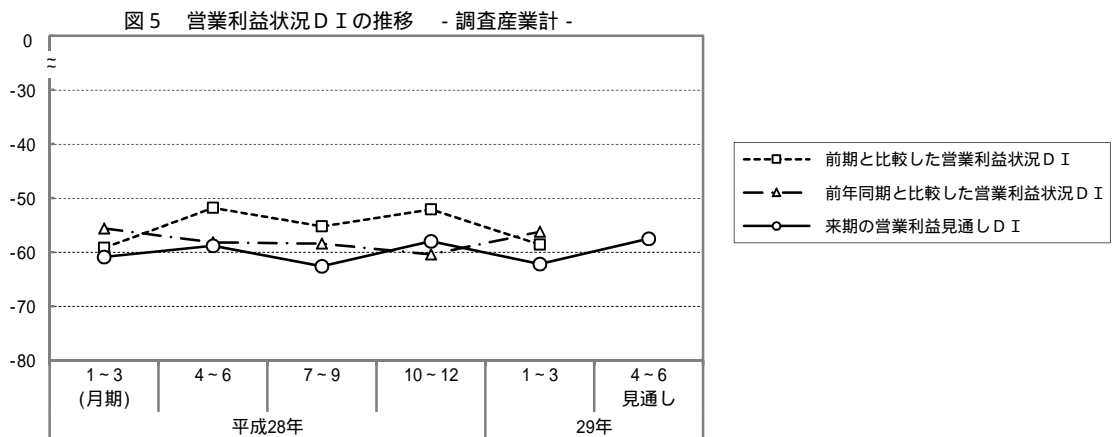
今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)58.6 で、前期 (-52.1) に比べ、6.5 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)56.2 で、前期 (-60.4) に比べ、4.2 ポイント改善した。

来期の営業利益見通し

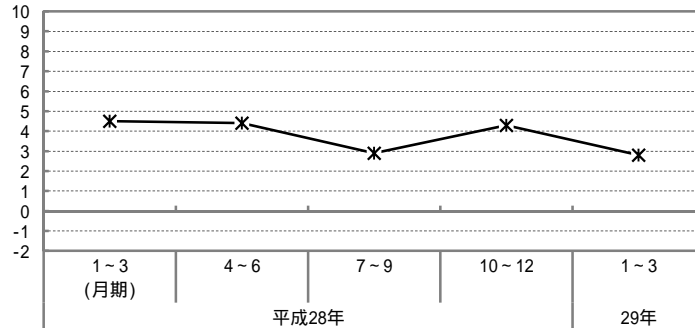
来期の営業利益見通しD Iは (-)57.5 で、前期における今期の営業利益見通し (-62.2) に比べ、4.7 ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況D Iは (+)2.8 で、前期 (+4.3) に比べ、1.5ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況D Iの推移 - 調査産業計 -

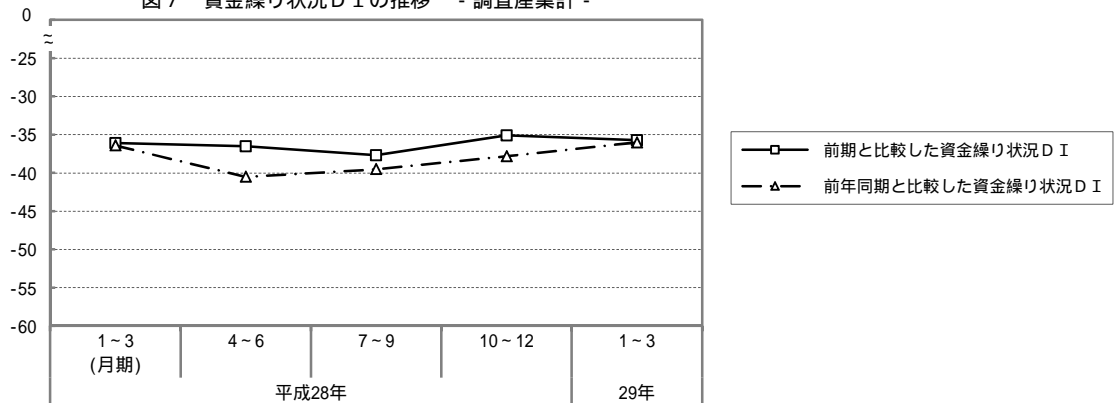


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況D Iは (-)35.7 で、前期 (-35.1) に比べ、0.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況D Iは (-)36.0 で、前期 (-37.8) に比べ、1.8ポイント改善した。

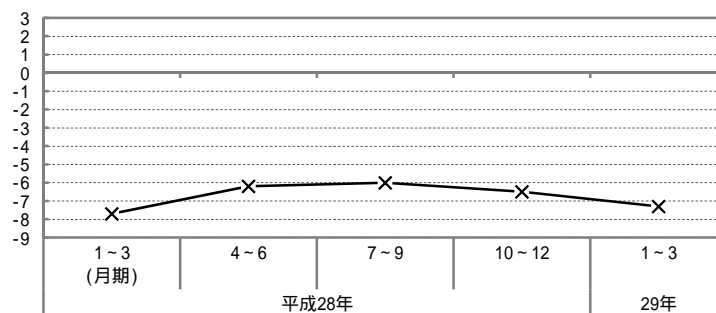
図7 資金繰り状況D Iの推移 - 調査産業計 -



(6) 雇用状況

今期の雇用状況D Iは (-)7.3 で、前期 (-6.5) に比べ、0.8ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況D Iの推移 - 調査産業計 -



2 製造業

(1) 業況

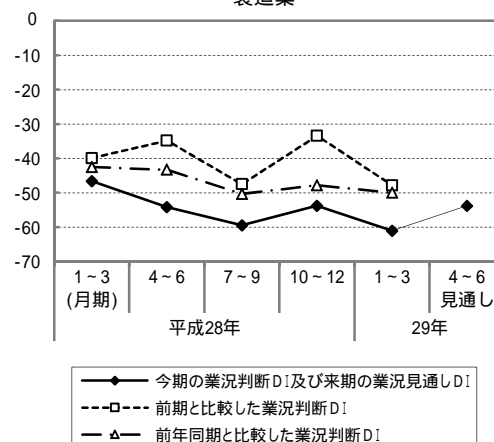
今期の業況

- ア 今期（平成29年1～3月期）の業況判断D Iは(-)61.1で、前期（平成28年10～12月期）(-53.8)に比べ、7.3ポイント悪化した。
- イ 前期と比較した業況判断D Iは(-)47.8で、前期（-33.4）に比べ、14.4ポイント悪化した。
- ウ 前年同期（平成28年1～3月期）と比較した業況判断D Iは(-)50.0で、前期（-47.8）に比べ、2.2ポイント悪化した。

来期の業況見通し

来期（平成29年4～6月期）の業況見通しD Iは(-)53.8で、今期の業況判断（-61.1）に比べ、7.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断D Iの推移
- 製造業 -



(2) 売上の状況

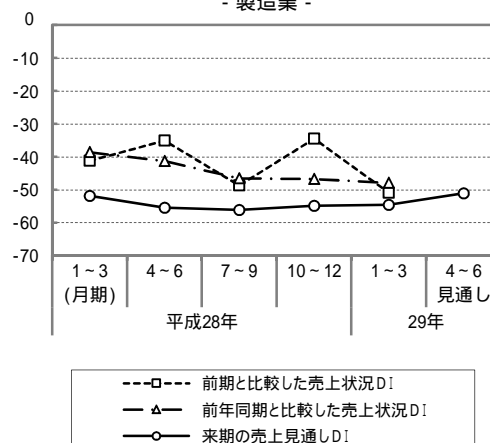
今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況D Iは(-)50.9で、前期（-34.5）に比べ、16.4ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した売上状況D Iは(-)47.9で、前期（-46.7）に比べ、1.2ポイント悪化した。

来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは(-)51.1で、前期における今期の売上見通し（-54.6）に比べ、3.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況D Iの推移
- 製造業 -



(3) 営業利益の状況

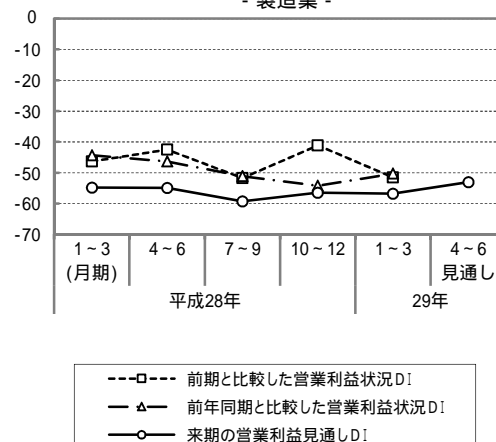
今期の営業利益の状況

- ア 前期と比較した営業利益状況D Iは(-)51.5で、前期（-41.1）に比べ、10.4ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは(-)50.3で、前期（-54.2）に比べ、3.9ポイント改善した。

来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しD Iは(-)53.1で、前期における今期の営業利益見通し（-56.8）に比べ、3.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況D Iの推移
- 製造業 -



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況D Iは (+)1.0 で、前期 (+2.9) に比べ、1.9 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況D Iは (-)33.8 で、前期 (-29.7) に比べ、4.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況D Iは (-)35.6 で、前期 (-32.2) に比べ、3.4 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況D Iは (-)4.6 で、前期 (-5.1) に比べ、0.5 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況D Iの推移 - 製造業 -

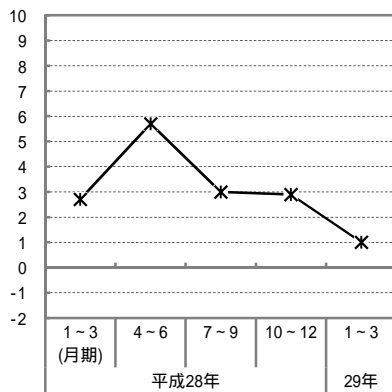


図13 資金繰り状況D Iの推移 - 製造業 -

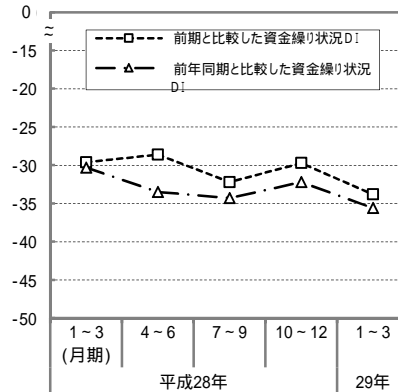
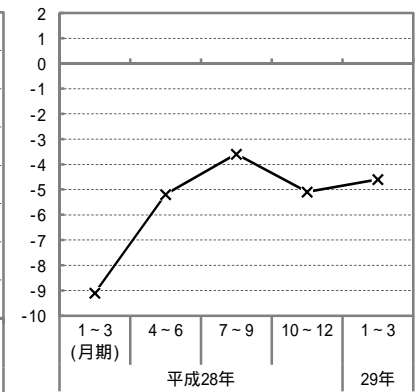


図14 雇用状況D Iの推移 - 製造業 -



3 卸売業，小売業

(1) 業況

今期の業況

ア 今期（平成29年1～3月期）の業況判断D Iは (-)63.3 で、前期（平成28年10～12月期）(-62.6) に比べ、0.7 ポイント悪化した。

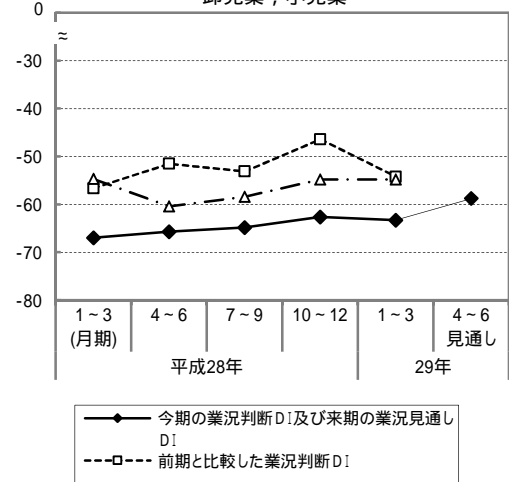
イ 前期と比較した業況判断D Iは (-)54.2 で、前期 (-46.4) に比べ、7.8 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成28年1～3月期）と比較した業況判断D Iは (-)54.8 で、前期 (-54.8) から、横ばいとなった。

来期の業況見通し

来期（平成29年4～6月期）の業況見通しD Iは (-)58.8 で、今期の業況判断 (-63.3) に比べ、4.5 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断D Iの推移 - 卸売業，小売業 -



(2) 売上の状況

今期の売上の状況

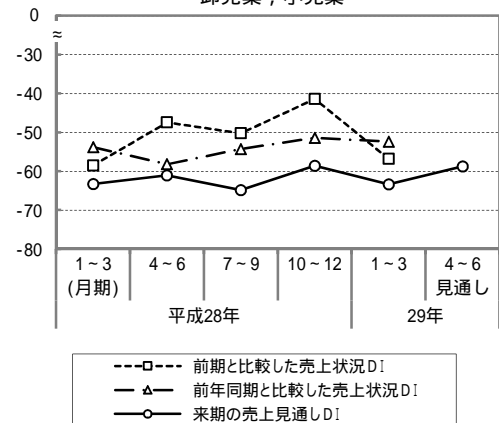
ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)56.8 で、前期 (-41.4) に比べ、15.4 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)52.4 で、前期 (-51.4) に比べ、1.0 ポイント悪化した。

来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)58.8 で、前期における今期の売上見通し (-63.4) に比べ、4.6 ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況D Iの推移
- 卸売業、小売業 -



(3) 営業利益の状況

今期の営業利益の状況

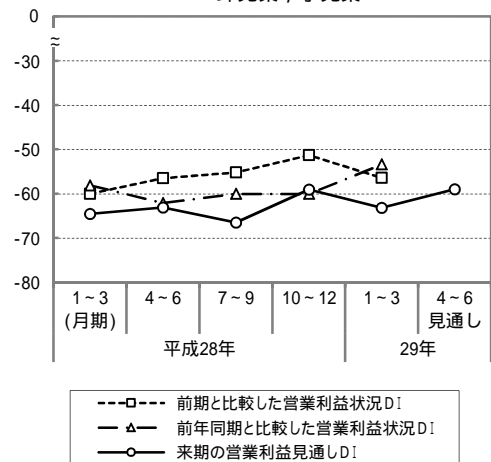
ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)56.4 で、前期 (-51.3) に比べ、5.1 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)53.4 で、前期 (-60.0) に比べ、6.6 ポイント改善した。

来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しD Iは (-)59.0 で、前期における今期の営業利益見通し (-63.2) に比べ、4.2 ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況D Iの推移
- 卸売業、小売業 -



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況D Iは (+)4.7 で、前期 (+6.3) に比べ、1.6 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況D Iは (-)33.9 で、前期 (-33.2) に比べ、0.7 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況D Iは (-)34.8 で、前期 (-35.7) に比べ、0.9 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況D Iは (-)6.4 で、前期 (-5.0) に比べ、1.4 ポイント「不足」が拡大した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況D Iの推移 - 卸売業, 小売業 -

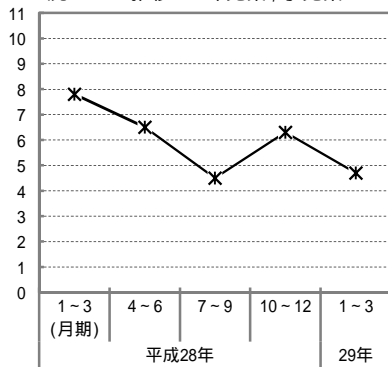


図19 資金繰り状況D Iの推移 - 卸売業, 小売業 -

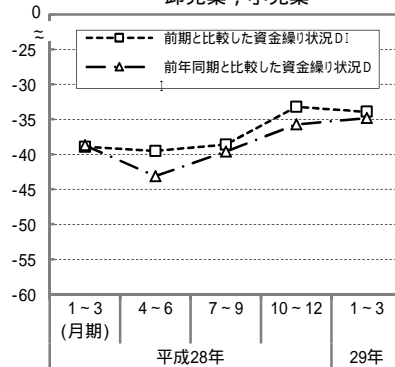
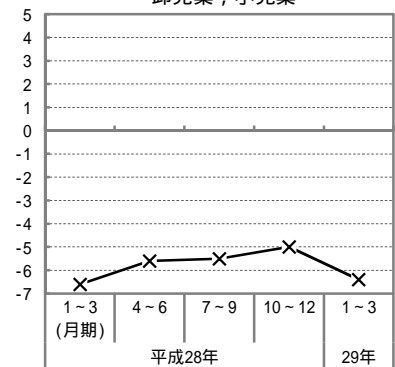


図20 雇用状況D Iの推移 - 卸売業, 小売業 -



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

今期の業況

ア 今期（平成29年1～3月期）の業況判断D Iは (-)59.5 で、前期（平成28年10～12月期）(-60.4) に比べ、0.9 ポイント改善した。

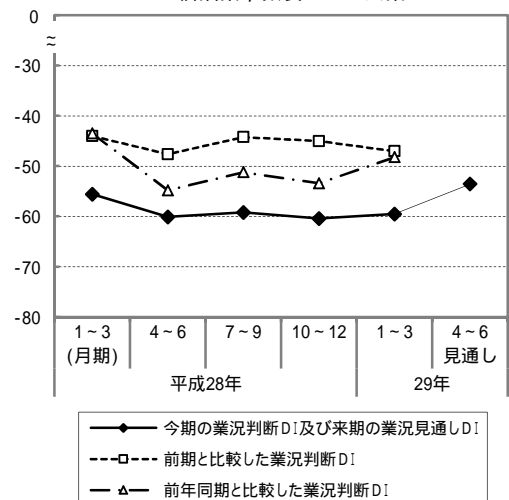
イ 前期と比較した業況判断D Iは (-)47.0 で、前期 (-45.0) に比べ、2.0 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年1～3月期）と比較した業況判断D Iは (-)48.2 で、前期 (-53.4) に比べ、5.2 ポイント改善した。

来期の業況見通し

来期（平成29年4～6月期）の業況見通しD Iは (-)53.6 で、今期の業況判断 (-59.5) に比べ、5.9 ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断D Iの推移 - 宿泊業, 飲食サービス業 -



(2) 売上の状況

今期の売上の状況

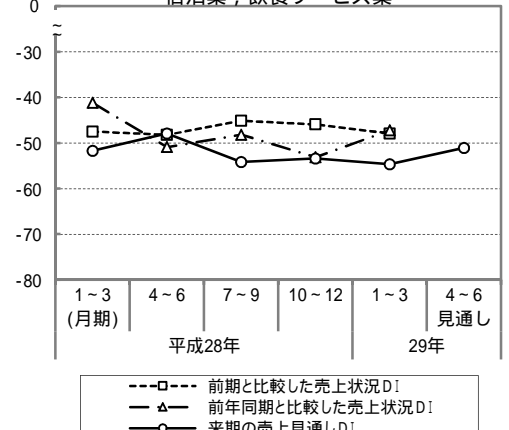
ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)47.9 で、前期 (-45.9) に比べ、2.0 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)47.2 で、前期 (-53.1) に比べ、5.9 ポイント改善した。

来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)51.1 で、前期における今期の売上見通し (-54.7) に比べ、3.6 ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況D Iの推移 - 宿泊業, 飲食サービス業 -



(3) 営業利益の状況

今期の営業利益の状況

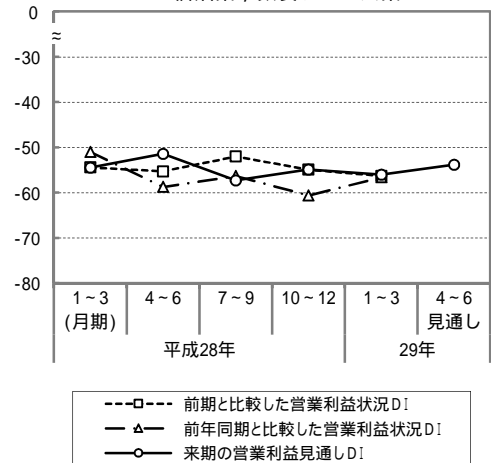
ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)56.3 で、前期 (-54.9) に比べ、1.4 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)56.6 で、前期 (-60.6) に比べ、4.0 ポイント改善した。

来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しD Iは (-)53.8 で、前期における今期の営業利益見通し (-56.0) に比べ、2.2 ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況D Iの推移
- 宿泊業，飲食サービス業 -



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況D Iは (+)1.4 で、前期 (+2.4) に比べ、1.0 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況D Iは (-)38.9 で、前期 (-39.4) に比べ、0.5 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況D Iは (-)38.6 で、前期 (-42.1) に比べ、3.5 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況D Iは (-)12.5 で、前期 (-11.4) に比べ、1.1ポイント「不足」が拡大した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況D Iの推移
- 宿泊業，飲食サービス業 -

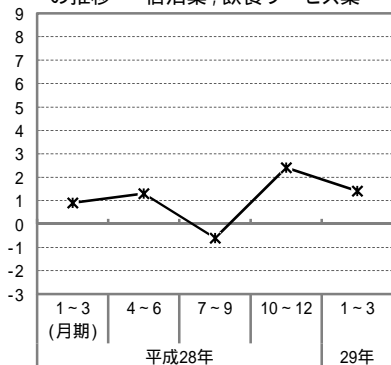


図25 資金繰り状況D Iの推移
- 宿泊業，飲食サービス業 -

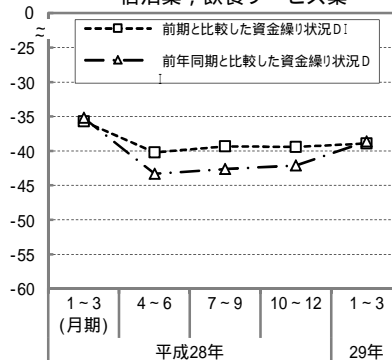
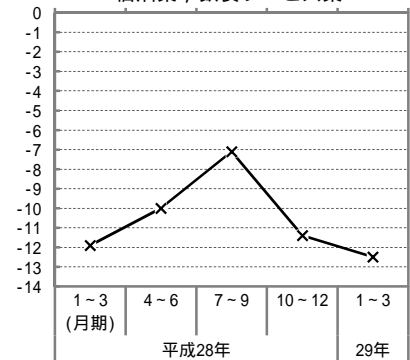


図26 雇用状況D Iの推移
- 宿泊業，飲食サービス業 -



5 サービス業

(1) 業況

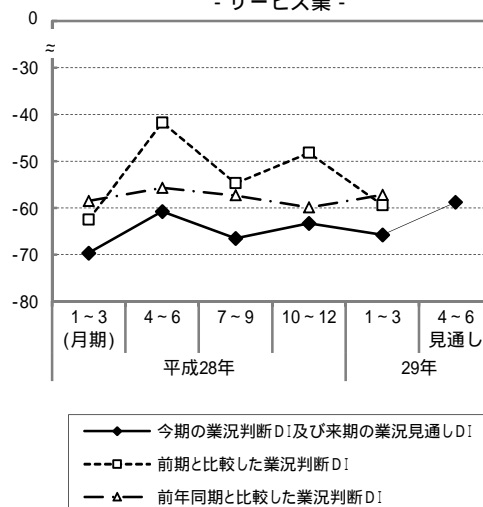
今期の業況

- ア 今期（平成29年1～3月期）の業況判断D Iは(-)65.8で、前期（平成28年10～12月期）(-63.3)に比べ、2.5ポイント悪化した。
- イ 前期と比較した業況判断D Iは(-)59.4で、前期（-48.2）に比べ、11.2ポイント悪化した。
- ウ 前年同期（平成28年1～3月期）と比較した業況判断D Iは(-)57.2で、前期（-59.9）に比べ、2.7ポイント改善した。

来期の業況見通し

来期（平成29年4～6月期）の業況見通しD Iは(-)58.8で、今期の業況判断（-65.8）に比べ、7.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断D Iの推移
- サービス業 -



(2) 売上の状況

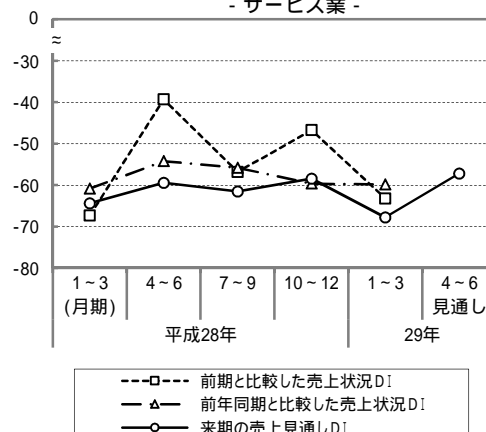
今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況D Iは(-)63.2で、前期（-46.7）に比べ、16.5ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した売上状況D Iは(-)59.8で、前期（-59.6）に比べ、0.2ポイント悪化した。

来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは(-)57.2で、前期における今期の売上見通し（-67.8）に比べ、10.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況D Iの推移
- サービス業 -



(3) 営業利益の状況

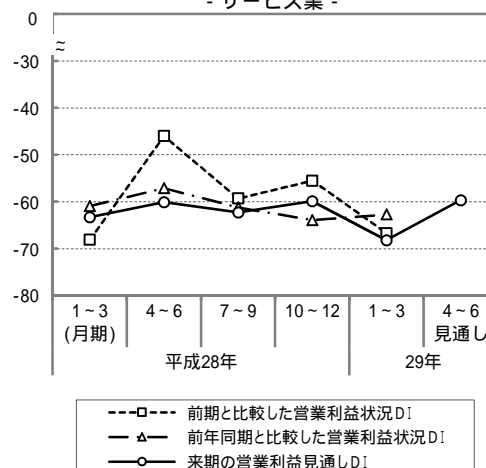
今期の営業利益の状況

- ア 前期と比較した営業利益状況D Iは(-)66.7で、前期（-55.5）に比べ、11.2ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは(-)62.7で、前期（-63.9）に比べ、1.2ポイント改善した。

来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しD Iは(-)59.7で、前期における今期の営業利益見通し（-68.2）に比べ、8.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況D Iの推移
- サービス業 -



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況D Iは (+)1.6で、前期(+3.1)に比べ、1.5ポイント「過剰」が縮小した。

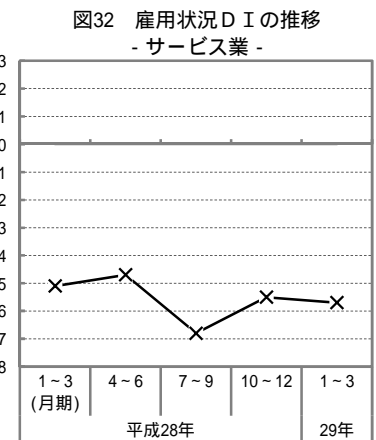
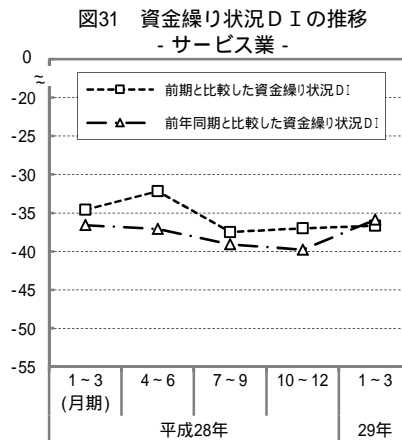
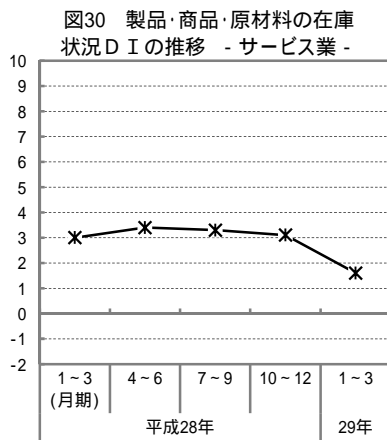
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況D Iは (-)36.7で、前期(-37.0)に比べ、0.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況D Iは (-)35.9で、前期(-39.8)に比べ、3.9ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況D Iは (-)5.7で、前期(-5.5)に比べ、0.2ポイント「不足」が拡大した。



営業収支

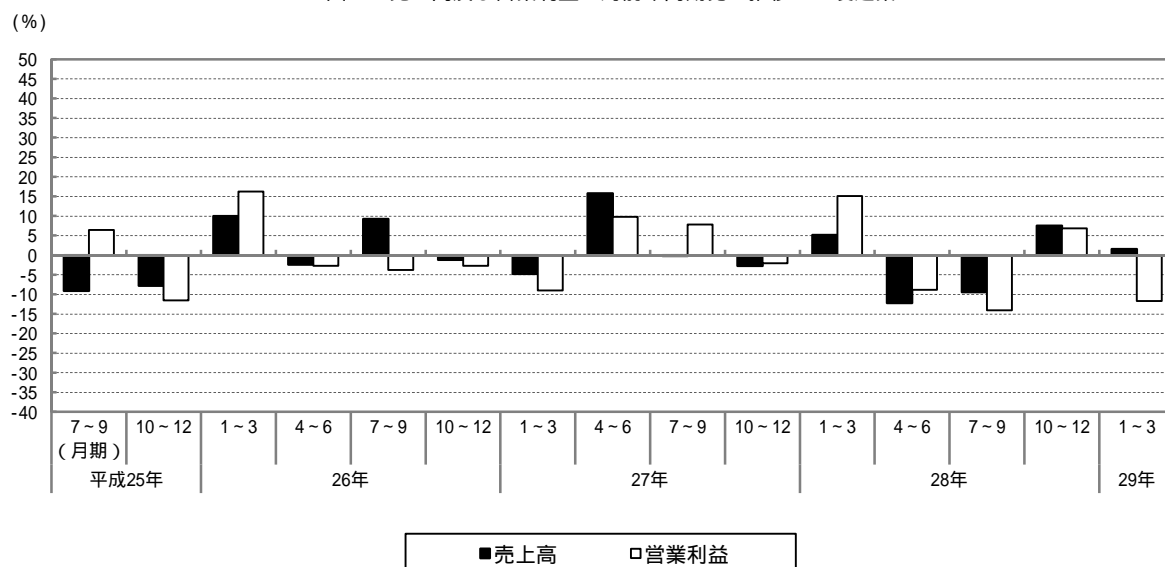
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は232万8000円で、これに対する費用は売上原価が83万1000円、営業費が89万2000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は60万5000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 1.5% で、2期連続で増加した。また、営業利益は(-) 11.7% で、2期ぶりに減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 - 製造業 -

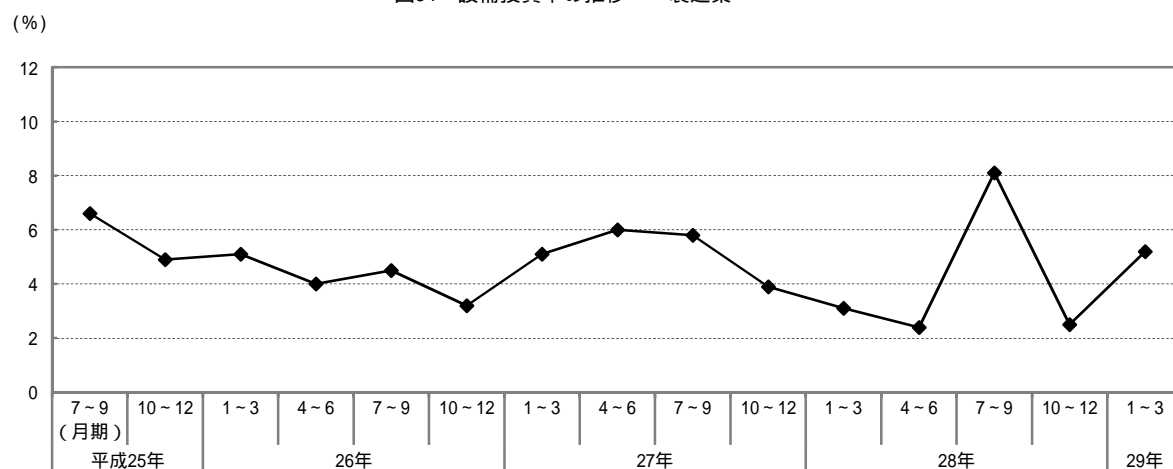


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は12万1000円で、前年同期(7万円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は 5.2% で、前年同期(3.1%)を 2.1 ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 - 製造業 -

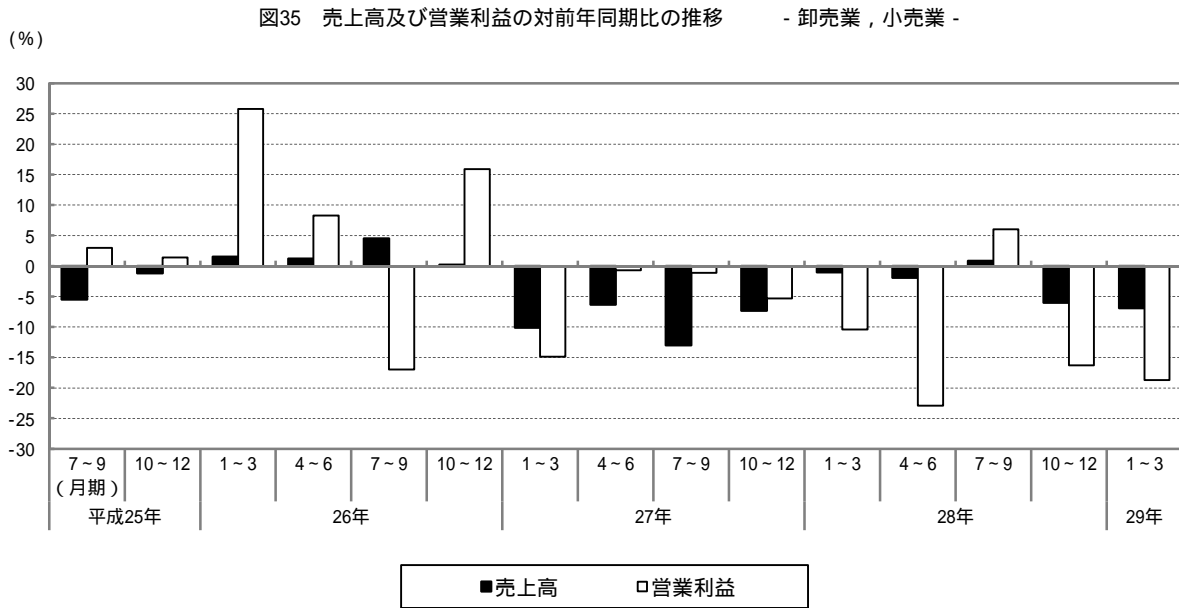


2 卸売業，小売業

(1) 売上高及び営業利益

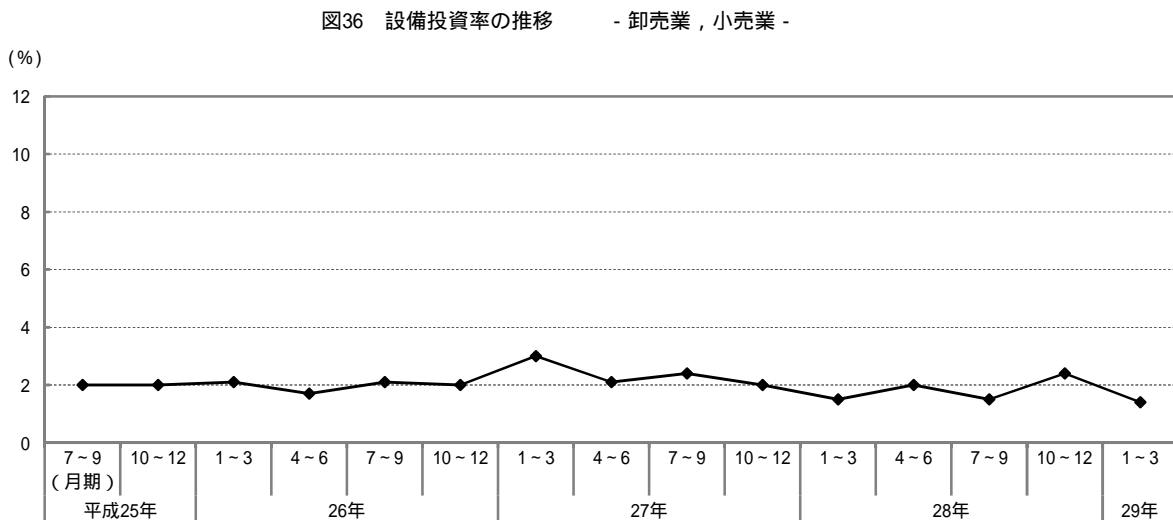
今期の1事業所当たりの売上高は332万円 で、これに対する費用は売上原価が223万5000円，営業費が79万8000円 となり，売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は28万7000円 となった。

対前年同期比をみると，売上高は(-)6.9% で，2期連続で減少した。また，営業利益は(-)18.7% で，2期連続で減少した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万6000円 で，前年同期(5万3000円)を下回った。また，設備投資率は1.4% で，前年同期(1.5%)を0.1ポイント下回った。

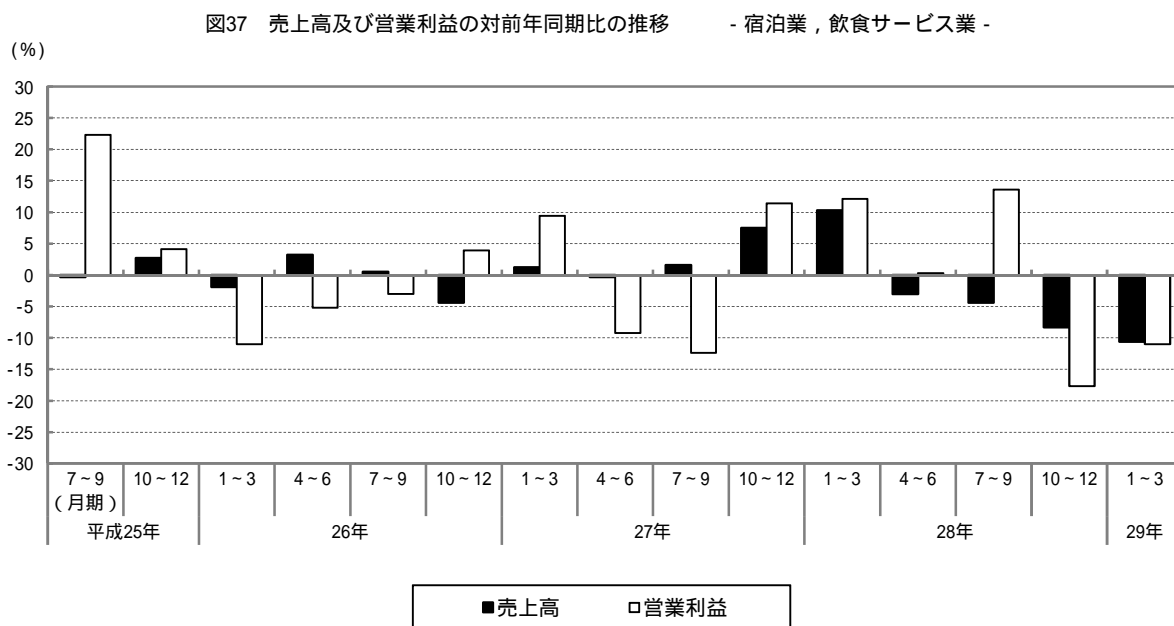


3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

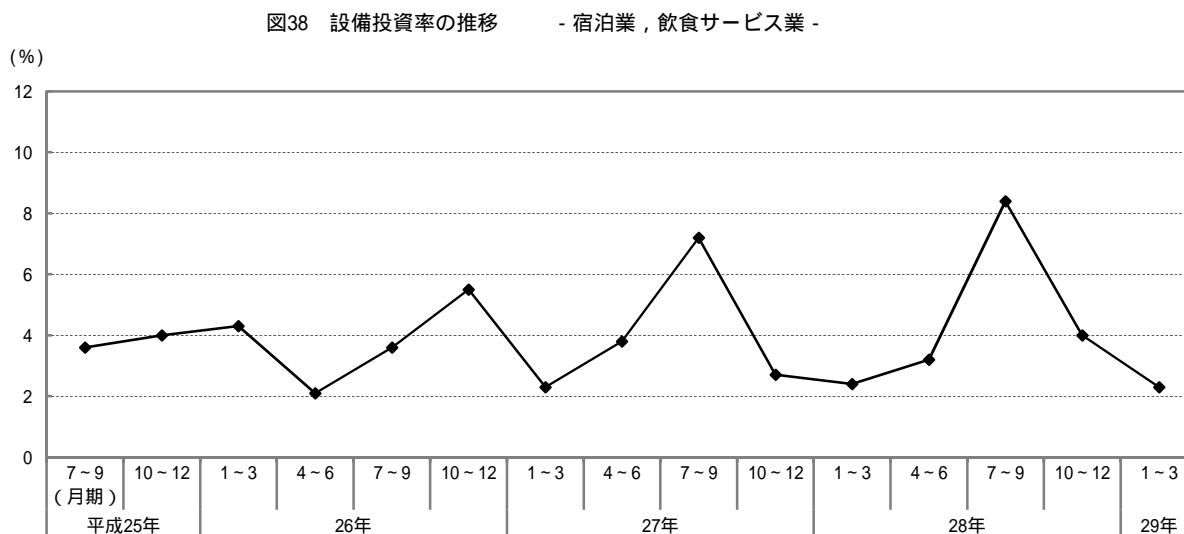
今期の1事業所当たりの売上高は201万4000円で、これに対する費用は売上原価が83万1000円、営業費が81万2000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は37万2000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)10.6%で、4期連続で減少した。また、営業利益は(-)11.0%で、2期連続で減少した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万6000円で、前年同期(5万5000円)を下回った。また、設備投資率は2.3%で、前年同期(2.4%)を0.1ポイント下回った。



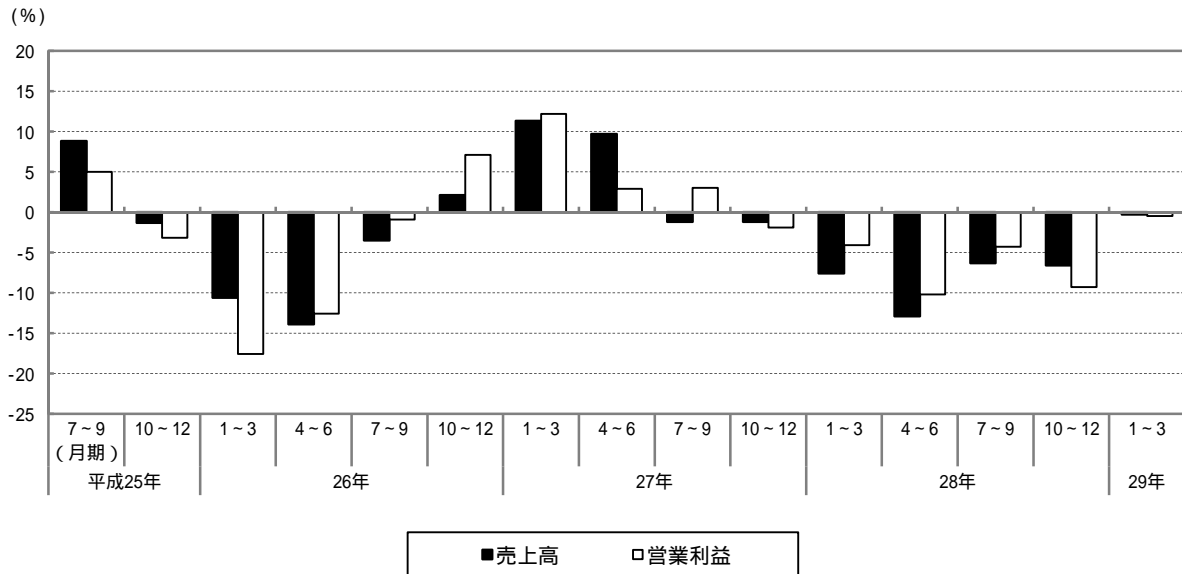
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は113万1000円で、これに対する費用は売上原価が20万6000円、営業費が54万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は37万7000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.3%で、7期連続で減少した。また、営業利益は(-)0.5%で、6期連続で減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 - サービス業 -



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万3000円で、前年同期(7万2000円)を下回った。また、設備投資率は3.8%で、前年同期(6.3%)を2.5ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 - サービス業 -

